

利根川について

五年 池田 将太郎

ぼくは、利根川について調べました。

利根川は、大水上山を水源として関東地方を北から東へ流れ、太平洋に注ぐ河川です。

水源は、群馬県と新がた県の境にある日本海側と太平洋側を分ける三国山の一つです。

利根川の長さは三百二十キロメートル、水源の標高は約千八百メートル、アマゾン川は水源が川のため急いがないけれどとても長い。

いので利根川の水の流れよりおそいです。そして利根川の流域面積は、一万六千八百四十ヘイホーキメートル日本一大きいです。河口は太平洋です。

次に名前の由来は、昔利根川は、坂東太郎という愛しように読ばれてきました。坂東太郎とは、坂東にある日本最大の河川ということかしいてです。

次に利根川の水の土手についてです。土手の役割は、雨で川の水が増したときにはトイトを

防いだめのものです。ふつうに土手の上を走
りたり自転車走ることが出来ます。

最後に利根川は生活に大切な川だと思います。
なぞな川がなくなると飲み水がなくなると
水道から水がでなくなるとします。そう
なると生活にがいをおあたえてしまいます。た
か利根川は、なくてはなりませんが、利根川が
日本一きれいな川になるように、ふだんの生
活を気をつけたいです。

みとなで利根川をきれいにたもちましょう。